

令和 3 年度 事業報告

大塚・歳勝土遺跡公園文化体験施設(都筑民家園)

2022.5.30

指定管理者

NPO 法人都筑民家園管理運営委員会

(事業報告書様式1)

1 施設概要

文化・自然体験施設名	大塚・歳勝土遺跡公園文化体験施設 都筑民家園
所在地	横浜市都筑区大榎西2番
公園面積、公園種別	約 8,200 m ² 、歴史公園
主な施設	主屋、茶室、庭、屋敷林、屋敷畑、池、竹林
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都筑の貴重な歴史を伝える市指定の文化財 ・ 茅葺の民家とともに、屋敷構えを彷彿とさせる園庭 ・ 古民家にふさわしい文化体験ができるイベントの実施 ・ 文化財の展示にとどまらず、実際に建物、施設を使い五感で理解・体験できる、保存と活用を図る
公園開園日	平成8年(1996年)3月25日

2 指定管理者概要

指定管理者名	NPO 法人都筑民家園管理運営委員会
代表者名	理事長 宮本 毅
所在地	横浜市都筑区大榎西2番
指定管理期間	R4年4月1日からR9年3月31日
現指定管理者管理運営開始日	平成18年4月1日

(事業報告書様式2)

1 管理運営体制(事業計画書様式2)の報告

古民家文化財を生かした文化体験施設として「保存と活用」を目指し、管理運営に取り組みました。管理運営に当たっては地域住民や協力者グループのボランティアな方々の協力を得て多世代交流拠点として役割を果たすことができました。遺跡公園全体の景観を保存するために横浜市公園維持課が推進する遺跡公園保全計画に基づき、隣接する横浜市歴史博物館、日常の手入れをしている遺跡公園愛護会と協働して環境保全活動に取り組みました。

- (1) 古民家文化財の保存と活用
- (2) 地域住民等の多世代交流拠点をつくる
- (3) 景観の保全と活用を通し横浜市の環境保全活動に寄与する
- (4) 市民参加の公平性を確保する

人員・組織体制

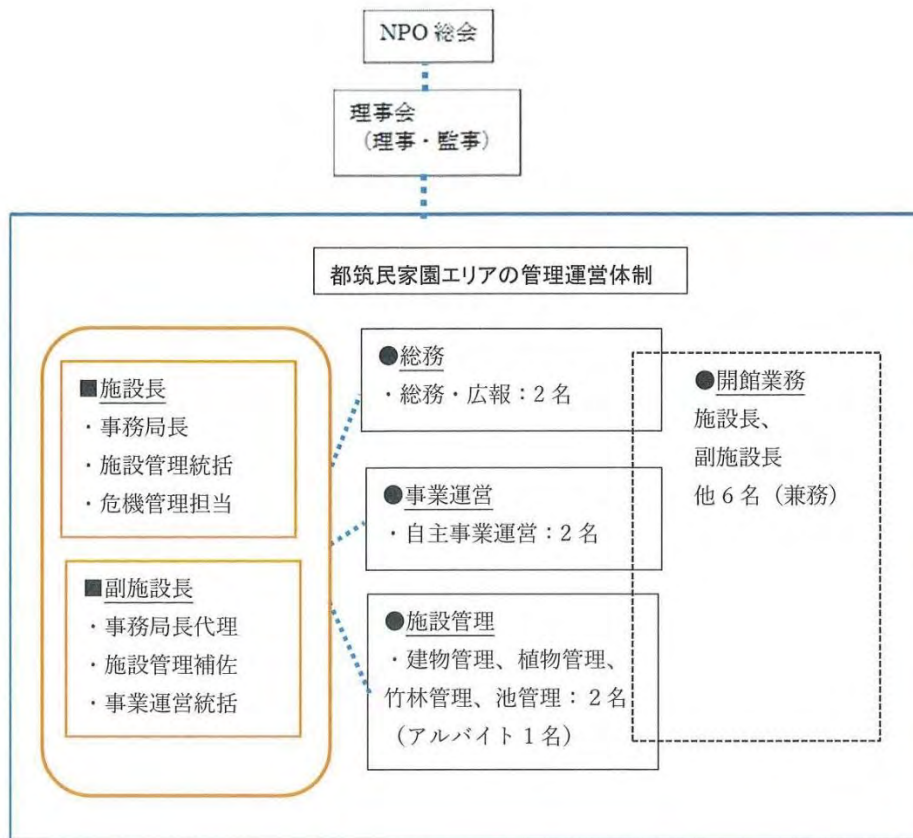
- (1) 管理運営責任者(施設長:事務局長、副施設長:事務局長代理) 2名
都筑民家園エリアの管理運営責任を分担、補完しあいながら日常業務を進めました。
- (2) スタッフ 6名
開館業務職:都筑民家園エリア全体の日常管理や巡視を担当。
施設管理職:植物管理や建物、工作物の修繕を担当。

事務職：管理事務所にて窓口、電話対応。総務、広報、事業運営を担当。

(3) 有給職員の種別

多様な人材が所属していて、個々の事情を考慮、各スタッフが得意な技能を生かした機能的な運営を行いました。週1日～3日程度と勤務時間は多様です。園内清掃についてはシルバー人材からのアルバイトを採用しました。

(4) 組織体制と人員配置図



(5) 人材育成・研修計画（※研修一覧については、様式8に記載すること）

人材レベルアップと情報共有化のために、毎月1回、年間12回スタッフ会議で各種研修を行いました。文化体験施設ガイドラインに沿った体験施設の保存と活用を基本に「おもてなしの心」を大切に、利用者満足度の向上に努めました。後継者育成も順次進めました。

年度末に1年を振り返り、次年度の展望について話し合いをしました。次年度から新たな5年間の指定管理がはじまり、横浜市の文化体験施設のガイドラインに沿った、事業計画及び事業報告がはじまります。スタッフ全員、古民家の管理運営に愛着を持ち、市民に愛される施設運営を目指します。市民の方々に広く愛される文化体験施設として日々の手入りに愛着を持って維持管理、年中行事をはじめとする行事の企画運営に協力者の応援も得て活動を進めます。

2 利用促進・市民協働等（事業計画書様式3）の報告

<コロナ禍での公共施設の管理運営について>

「まん延防止等重点措置」が年度中幾度も発令され、その状況下でも公園や民家園には開放的な自然環境を求めて多くの人を訪れました。

「公園は公共の福祉に資する施設である」ことを再確認し、人々の日常の暮らしの中で「心身の健康」を維持するためのオープンスペースとしての認識を深めることとなりました。

一方、職員も不安を抱えながら業務に就く日々が続き、感染症防止対策をスタッフ全員が共通して行うことは容易なことではありませんでした。まずは、職員の体調管理、安全対策に十分配慮しながら園内のルールを定め周知徹底させました。日々の消毒作業等を適切に行い、安心して利用いただける施設を目指し努力しました。行事を支えるボランティアの方々とも意見交換を図り、「いま出来ることを、無理のない範囲で行う」を心掛けすすめてきました。

1) 自主事業の開催、中止について

自主事業は「年中行事」「伝承文化体験」などを中心に市民の皆様へサービスを提供しました。文化体験施設にふさわしい行事が単調な年中行事にならない様、全国各地の古くから伝わる節句行事を調査し、素材を集め、江戸期の建物と調和した五節句展示の充実を図ることができました。上半期は食に関するイベントは全て中止となり、内容を展示主体に切り替えました。展示方法も三密を避け安心して見ていただける様に庭からも見れる工夫をし、多くの市民の方々に楽しんでいただきました。下期にはコロナも一時的におさまり様子を見ながらイベントを再開しましたが、1月に再び「まん延防止等重点措置」が発令され、その後は殆どのイベントを自粛、中止となりました。

行事の詳細は「事業報告様式11」参照。

2) 市民サービス向上の取組について

施設内は、常に整備し気持ちの良い環境づくりを心掛けています。「おもてなし気持ち」を忘れずに日常管理を行っています。近隣の保育園や幼稚園の子ども達は年中行事を楽しみに訪れています。時には、子ども達の節句の歌声が古民家の庭に響き渡ります。感染防止の観点から、主屋内の入室制限をするなど提供できるサービスが低下する期間もありましたが、市民の方々とはトラブルもなく理解を得ることができました。利用者ニーズの把握については、アンケートの活用。他にも地域支援の取組ができるように問い合わせには丁寧に対応し、ニーズの把握に努めました。その結果、地域の学校と連兼することもできました。「手作りおもちゃ講座」、地域商業施設との「七夕・門松イベント」は、横浜市も推進しているSDGsの取組イベントとして実現しました。

(3) 広報・プロモーションの取組

「月間行事予定」「区広報」は毎月の行事を紙媒体、民家園HP、facebookで発信しました。地元情報誌（タウンニュース）やケーブルテレビ（イツココミュニケーションズ）などに情報提供し、取材記事や動画はマスコミ媒体に発信しました。

コロナウィルス感染症拡大防止対策については、管理エリアに各種ポスターを掲示し周知しました。

(4) 市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成

市民からの要望は、地域支援事業として常時受け入れる体制で取り組みました。若い世代やシニア世代の市民活動を今後も支援し、地域で活動する人材が増えていくことを期待しています。

(5) 災害時の緊急対応について

地震発生時、火災発生時のマニュアルは常備し、消防訓練（1回/年）は、理事業、副理事、事務局員参加で1月に実施。当初予定の消防車の訓練はまん延防止措置発令を受け中止となり、予防課による模擬訓練と AED 講習を実施しました。本年度は台風の被害は少なかったものの、強風、強雨の警報発令時には事前事後の見回りを徹底し、園路の側溝の清掃、枯れ枝、倒木の整理を行い来園者の安全確保に努めました。

（6）安全対策・防犯対策について

施設の安全確保（園路の安全確保、枯れ枝等落下物の除去など）は日常点検の中で実施。不具合な部分は即対応することで安全確保に努めた。

機械警備で6月から7月にかけて夜間に警備会社へ警報発報が頻繁に発生しました。原因の一つにはセンサーの経年劣化が考えられます。警報発報時には夜間警備員が都度見回り、異常のないことを確認し記録しています。2月にもセンサー誤報が多数発生。原因は木戸門、通用門の赤外線センサーの支柱のゆがみによる不良とのこと。警備会社が総点検をして回復しました。機械警備装置は設置後25年を経過、本格的な改修の次期を迎えています。リース物件ではありますがフェンスの改修とともに設備更新が必要となっています。

（7）苦情・要望への対応・不法行為対策について

苦情・要望の対応手順のマニュアルを作成し、事務局内で共有しています。都度、北部公園緑地事務所にも報告し対応しています。公園利用者の要望は、アンケート BOX を設置して、毎月集計分析しています。屋外トイレについては、外国人やこどもの利用者からは洋式トイレへの変更を希望されている方がいます。

（8）個人情報保護・情報公開、人権尊重、障がい者差別解消について

個人情報保護の研修を期首に実施。各種名簿はパスワード付きファイルで個別に管理、受付名簿は必要最低限の情報とし（氏名、電話、在住区）、鍵付きキャビネットに保管しています。人権尊重については、コロナ禍の為、市の研修サイトを使用し、各自 web 受講を実施しました。近隣の地域活動ホームくさぶえとの連携事業を通じ、実践活動の中で障がい者理解増進を図りました。

3 維持管理（事業計画書様式4）の報告

<維持管理の全体的な考え方>

都筑民家園は江戸中期の建設物として、横浜市のなかでも貴重な文化財の一つです。農家の佇まいを残すため土の庭、景観畑、屋敷林、池、周辺の竹林など全体が文化体験施設となっています。10年前には地元の篤志家のご支援を受け、まち普請事業助成を受けて日本文化体験施設として本格的な数寄屋建築の茶室を建設し寄付されました。現在、さまざまな日本文化体験ができる施設として活用しています。

（1）管理方針

古民家等の維持管理にあたっては、文化体験施設の歴史的・文化的価値を理解し、先人たちの知恵を受け継ぎ、後世に伝承していく大切な「地域の財産」であり、地域コミュニティの醸成の場であるという認識にたって維持管理していく。建物の特性や状況の変化に応じて手厚く適切な措置を講じました。

(2) 基本管理（巡視点検・清掃）

維持管理計画に基づき、施設内建物、主庭の清掃、施設点検（目視）を実施。日誌や清掃箇所のチェックリストを作成し、点検個所の不具合を記入。改善につなげた。清掃対象の材質や箇所・状態に合わせて適切な清掃用具を使い文化財保全に努めた。

(3) 植物管理（花壇、畑、竹林）

定期的な清掃、草取りなど手入れを行い、訪れる方が気持ちよく過ごせる環境づくりを行った。花壇には和花を主体に季節の移ろいを感じられる花々を植え、畑は古民家の暮らしが体験できる作物里芋、ジャガイモ、ミョウガなどを育てた。庭木は定期的に剪定を行い、庭全体のバランスを整えることを心掛け園内整備を実施した。

低木の剪定はアルバイトを採用、定期的な剪定を行い、春先にはツバキや柑橘樹はチャドクガの防除。柿の木、ウメの木など果樹も剪定を行い庭木にふさわしい樹形を確保した。茶室露地は茶室活用協力者の支援を受け、草取り、苔の育成、樹木の剪定を行いました。

(4) 建物管理（主屋、茶室）

毎日、見回りや清掃時に目視点検を行った。基礎周りや建物の毎月1回の定期点検は、担当者を決め実施。チェックシートを作成し記録。主屋や茶室はコロナ禍で使用していない部屋の換気に常に気を配り、白アリ発生やカビの発生を防ぐ努力をした。

(5) 工作物、設備管理（池、排水溝、枯れ葉ゲージ、敷石）

池の循環ポンプが採取口に枯れ葉や泥がたまと、ポンプが止まる為、都度排泥の清掃を行い、原状回復をした。また、浮遊している枯れ葉は網ですくい清掃した。

長雨や強い雨の後は排水溝の清掃を定期的に行った。枯葉ゲージを作成し敷地内で発生した枯葉で腐葉土を作り、畑、花壇整備に活用した。

(6) 維持管理の作業計画と確認

維持管理計画に基づきほぼ計画通りに実行できた。まん延防止等重点措置の期間中は、協力者グループの作業（畑、花壇等）は行わず、代わりに事務局員の作業で補った。全体の整備結果には影響はなかった。

(7) 修繕 ※別紙参照「事業報告書様式4」

正門階段の正門前園路砂利敷工事を近隣町内会の協力を得て行った。主庭敷石整備工事を行った。両工事共、雨天時に雨水が溜まり歩きにくい現象を解消でき大変好評であった。

コロナ対策として茶室の換気確保のため勝手口網戸の設置を行った。

馬屋の土台下にネズミの出入りする穴があり、小動物の進入を防ぐためエコグローブで穴をふさぐ修理をした。

(8) 安全対策

警備会社と委託契約を結び、休日・夜間機械警備を行った。法定消防設備点検の立ち合いを2回/年、非常用消防ポンプの電気点検を12回/年行った。日常安全目視点検を毎日行った。特に悪天候後には、高木の枯れ枝の落下未然防止措置を重点的に行った。害虫発生（チャドクガ、スズメバチ等）の恐れがある箇所の点検、防除を行った。

(9) 近隣住民への配慮

公園来園者の周辺道路での違法駐車を防ぐため、定期的に見回り管理した。

(事業報告書様式3)

令和3年度文化・自然体験施設利用状況(園地や無料施設で利用者数を計測している場合は記入)

月別	文化・自然体験施設の利用人数	備考(主な行事)
4月	4,813	竹林講座、五節句展示(こいのぼりと五月人形)、草履講習会、着付け
5月	6,671	五節句展示(こいのぼりと五月人形)
6月	2,846	五節句展示(七夕飾り)と短冊書き
7月	2,660	五節句展示(七夕飾り)と短冊書き
8月	1,677	
9月	2,753	お月見ライブ(映像無料配信)、
10月	3,194	五節句展示(菊節句)、草履講習会、おはなし会、南京玉すだれ
11月	5,140	日本を知ろう(書道展)、七五三着物、おはなし会、しの笛の朝
12月	3,432	鏡餅づくり、みそ講座、ミニ門松講座、南京玉すだれ、しの笛の朝
1月	2,896	七草、お蔵開き、チョット昔のお正月、しの笛の朝、
2月	4,514	鬼は外、福は内(展示のみ)
3月	4,836	五節句展示(ひな祭りウイーク)、はぎれ草履講習会
年間合計	45,432	

(事業報告書様式4)

令和3年度修繕実績(※指定管理者が実施したもののみ記入)

修繕年月日	修繕箇所	金額 (単位:円)	委託業者名または直営かの記載
4月~5月	主屋雨水排水溝の排泥清掃	0	直営
R3.4.9	木戸門かんぬき修理	0	直営
R3.7.9	茶室露地枝折戸、池柵の修理	0	直営
R3.7.20	パイプ椅子張り替え修理(3脚)	0	直営
R3.8.5	事務所玄関入口エコグローブ舗装	13,200円	直営
R3.9.7	外トイレ網戸取り付け	2,246円	直営
R3.9.21	事務所玄関入口引き出し修理	5,918円	直営
R3.9.25	事務所機の脚制作	0	直営
R3.10.9	主屋土間上、ランプ交換	0	直営
R3.10.10	茶室勝手口の網戸設置	22,948円	直営
R3.10.14	主屋と馬屋の間の竹雨樋修理	0	直営
R3.10.30	枯れ葉たい肥ケージの修理	9,900円	直営
R3.11.3	スポットライト電球交換	9,629円	直営
R3.12.19	茶室露地、竹垣修理	0	直営

大塚・歳勝土遺跡公園文化体験施設 令和3年度 事業報告書

R4.2.14	正門前園路砂利敷工事	16,170 円	直営（地元町内会協力）
R4.2.22	馬屋エコグローブ穴塞ぎ工事	0	直営
R4.3.6	事務所裏倉庫敷居、板戸修理	22,660 円	直営
R4.3.6	池のポンプ停止、点検復旧	0	直営
R4.3.16～30	主庭敷石整備工事	130,570 円	直営
R4.3.22	機械警備の踏み込みスノコ制作	0	直営
R4.3.28	園路エコグローブ舗装	18,150 円	直営
合計		251,391 円	

（事業報告書様式5）

令和3年度増減備品一覧（※指定管理者が購入・廃棄したもののみ記入）

品名	形状・その他	単価 (円)	購入		廃棄		増減理由
			数量	年月日	数量	年月日	
ガーデンシュレッダー	電動式、小枝処理	34,900 円	1	2022.3.5			新規購入

（事業報告書様式6）

苦情・要望対応報告

	年月日	内容	対応結果
1	R3.11.6	行事パフォーマンス後の出演者にマスク装着を要請した行為が、出演者への敬意に欠ける行為であるとのご意見。	マスク要請の経緯を説明。出演者にも電話にて報告、理解を得た。
2	9月、3月のアンケート	屋外トイレ旧和式トイレを洋式にリニューアルを希望。（親子の要望）	公施施設共通の課題で北部公園緑地事務所と協議。

事件・事故・災害対応報告

	年月日	内容及び被害	対応結果
1	R3.9.19	台風による枝折れ、竹林の倒竹	処分、回収済み
2	R3.9.30.	ナラ枯れ報告（8月月報）	2/19 伐採（民家園内3本）

(事業報告書様式7)

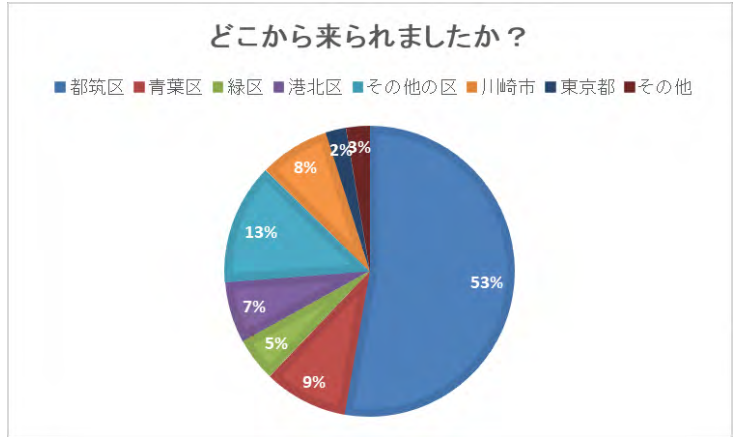
利用者アンケート結果

実施期間：R3年4月1日~R4年3月30日

回答者：283人（平常時102人、イベント時181人）

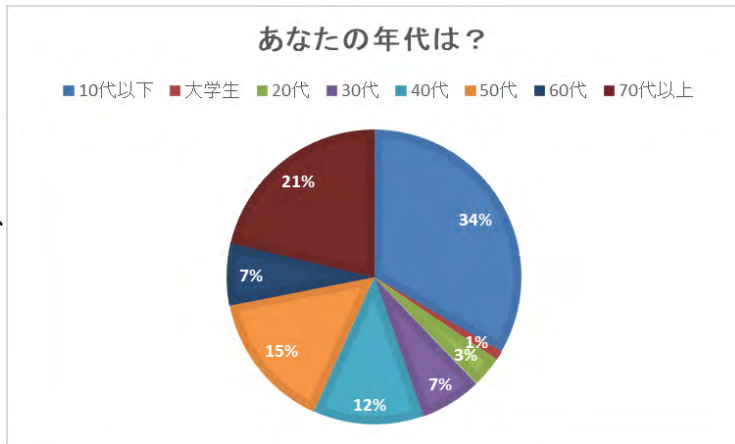
1. 利用者の動向

地元都筑区が53%と半数。
 北部4区で74%と3/4を占め、近隣の方々の憩いの場となっている。
 横浜市のその他区では13%、横浜市民の方は87%となり、市民利用施設として活用が図られています。
 隣接する川崎市、遠くは鎌倉市や東京からもイベントを目当てに来園。



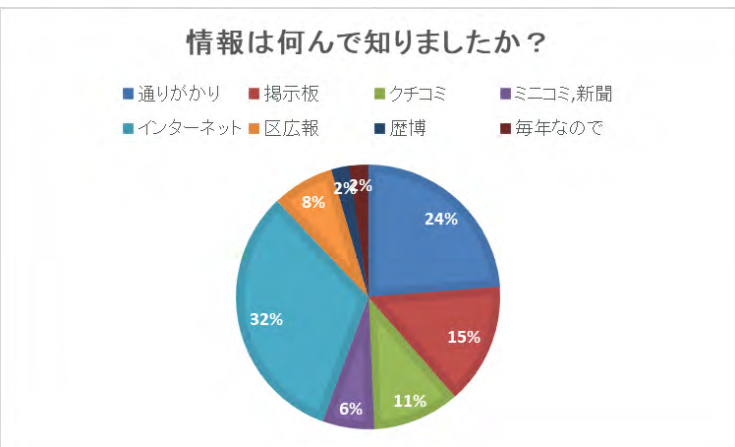
2. 利用者の年齢構成

年齢別では親子連れの来園も多いので10代以下が34%となっています。また、横浜市の全校の校外学習場所に大塚・歳勝土遺跡公園が指定されていますので、その回答も含まれています。
 シニアの利用も散歩や五節句イベントや書道展など参加が増えています。
 60歳以上が29%となっています。



3. 利用者の情報入手について

通りがかりが24%、散策の途中に立ち寄りが多いです。
 情報入手はインターネットが32%となり、最近ではHPをスマホで検索する方が増えています。
 掲示板、ミニコミ、区広報の紙媒体も29%となり紙と電子媒体の両面作戦が求められています。



4. まとめ

最近の傾向として、ますます情報入手が個人毎のスマホに依存されるため、HPもスマホ対応を基本に次年度リニューアルを進めます。また、シニア層を主体に紙媒体のニーズも強く、区広報、近隣住民へのチラシ配布など両面作戦で市民への広報、プロモーションを継続します。

(事業報告書様式8)

研修実施報告

	実施日	研修名	内容及び効果
1	R3.4.27	個人情報保護研修	個人情報取扱い特記事項
2	R3.4.27	コロナ感染症予防対策	イベント使用後の処置について（清掃、消毒）
3	R3.4.27	安全管理研修	肩掛式草刈機事例等を学び、実習研修に参加
4	R3.5.27	危機管理研修	チャドクガ、スズメバチの注意喚起と発見時対処方法
5	R3.6.29	事務局研修	外作業道具の整理整頓。処理した草や小枝の処理方法
6	R3.6.29	危機管理研修	蚊（ボウフラ）、スズメバチ対策について
7	R3.6.29	危機管理研修	熱中症対策。WBGT 計の計測方法
8	R3.8.22	危機管理研修	緊急事態宣言下の園内のルールの確認
9	R3.8.22	危機管理研修	熱中症、台風対策について
10	R3.9.12	甲種防火管理者講習	甲種防火管理新規講習、防災管理新規講習受講
11	R3.9.26	事務局研修	事務局員緊急時の対応について
12	R3.10.21	事務局研修	行事事務について
13	R3.10.21	危機管理	悪天候後の高木枯損枝発見時の処理（報告）について
14	R3.11.29	コロナ感染症予防対策	コロナ第6波の影響を想定した対処法の確認
15	R3.11.29	危機管理（火災予防）	建物廻りの可燃物の整理整頓の徹底について
16	R3.12.26	危機管理研修	大雪対策発生時の対応について
17	R3.12.26	安全対策研修	冬場の電気製品の扱い方について

(事業報告書様式9)

無料事業実施報告一覧（自主事業含む）

事業名	事業内容・実施結果	参加人数	実施日
【五節句】五月人形と鯉のぼりの展示	端午の節句のしつらえの展示と鯉のぼりの設置（庭12匹。主屋内2匹）。民家園所蔵品と施設協力者と共同で作成した品を展示。	4,200人	R3.4.24 ～5.5
【五節句】サラサラキラキラ七夕まつり	七夕の節句にちなんだ郷土の飾りを紹介。主屋に設置の笹竹には飾る七夕飾りは、施設協力者と共同で作成。一般来園者が書いた短冊を吊るした。	630人	R3.6.30 ～7.7
【五節句】菊節句の展示	重陽の節句にちなんだ品の飾り付けを行い、専門家による節句の講和を行った。	300人	R3.10.16 ～17
餅つき交流会	民家園にお供えする鏡餅づくりを地元町内会の協力を得て行った。	9人	R3.12.19
【五節句】七草粥とお蔵開き	七草のきざみ歌、鏡開きのパフォーマンスを地元町内会の協力を得て行い、一般来園者に披露。	10人	R4.1.7
鬼は外、福は内	節分にちなんだ飾り付けを行った。	674人	R4.2.1 ～3

大塚・歳勝土遺跡公園文化体験施設 令和3年度 事業報告書

【五節句】ひな祭りウイーク	ひな人形の段飾り、つるし雛、折り紙雛、土雛などの展示を施設協力者と共同で行った。毎年、リピーターも多く、楽しみにしている方が多い。	3,300人	R4.2.23 ～3.3
【日本を知ろう】濱崎道子書展	日本文化を現代の生活に生かす。「書道」を知る行事。書家濱崎氏と共同で開催。作品や大字揮毫を披露。	847人	R3.11.6～ 7
しの笛の朝	毎週土曜日コンサートを定期開催。(一回/週)	112人	19回/年
いろいろ端おはなし会	子育て世代(乳幼児親子)を対象に昔話し、わらべうた遊びを定期開催。(一回/月)。	38人	4回/年
南京玉すだれ実演見学	南京玉すだれの実演披露を定期開催。(一回/月)	35人	2回/年

有料事業実施報告一覧(自主事業含む)

事業名	事業内容・実施結果	参加人数	実施日	自主事業決算額	
				自主事業費(円)	自主事業収入(円)
楽しい竹林講座	竹林整備の講和と笛掘り体験。公園愛護会と共同開催。	28人	R3.4.11,18	56,578円	21,164円
七五三着物を着て自撮りを撮ろう	七五三の着付けと参加者による自撮り撮影するイベントを施設協力者の協力で行った。	21人	R3.11.14	79,675円	73,500円
チョット昔のお正月	正月遊び(すごろく、百人一首等)を伝承。毎年子どもたちに好評。	8人	R4.1.9	13,400円	4,000円
みそ講座	手作り麴屋さんから仕入れ麴と大豆の材料とレシピ提供。	61人	R3.12.8	217,400円	244,000円
ミニ門松作り講座	園内の竹を使用。松材は天然の素材のミニ門松を作る。	10人	R3.12.18	10,720円	5,000円
はぎれ草履講習会	はぎれを使った草履づくりを施設協力者で行った。	12人		20,965円	12,000円
楽しく着物を着ましょう	着付けを楽しむ講座を施設協力者で行った。	16人		30,400円	24,000円
茶道初級講座	茶道を気軽に体験できる講座を施設協力者で行った。	10人	R3.11.6,12.4, R4.1.8	11,000円	20,000円
合計				440,138円	404,564円

(事業報告書様式10)

業務の第三者委託実績

業務	内容	委託会社	金額(円)	年回数	実施月
機械警備	夜間、休館日の機械警備	国際警備保障㈱	620,400	365回	年間
竹林等公園内整備	竹林の間伐及び芝生広場の草刈	大塚・歳勝土遺跡公園愛護会	600,000	10回	年間

大塚・歳勝土遺跡公園文化体験施設 令和3年度 事業報告書

(事業報告書様式 11)

収支報告書 (指定管理事業のみ)

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	14,364,900		14,364,900	14,364,900	0	
利用料金収入	0		0			
自主事業収入	591,000		591,000	404,564	186,436	
雑入	0		0			
その他雑入	0		0	9,972	-9,972	コピー代
収入合計 (a)	14,955,900		14,955,900	14,779,436	176,464	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	8,271,130		8,271,130	8,316,044	-44,914	
給与・賃金	7,893,130		7,893,130	7,963,847	-70,717	
社会保険料	240,000		240,000	137,505	102,495	
通勤手当	138,000		138,000	214,692	-76,692	
福利厚生費	0		0	0	0	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
事務費	2,148,800		2,148,800	2,173,768	-24,968	
旅費	10,000		10,000	7,966	2,034	
消耗品費	774,800		774,800	608,557	146,243	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	100,000		100,000	126,787	-26,787	
通信運搬費	164,000		164,000	168,523	-4,523	
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
(横浜市への支払い分)	0		0	0	0	
(その他)						
備品購入費	50,000		50,000	124,770	-74,770	
保険料	240,000		240,000	251,970	-11,970	
振込手数料	40,000		40,000	46,195	-6,195	
リース料	374,000		374,000	420,000	-46,000	
手数料	0		0	0	0	
その他事務費	396,000		396,000	407,000	-11,000	税務相談
自主事業費	1,405,350		1,405,350	949,878	455,472	
管理費	3,130,620		3,130,620	3,029,224	101,396	
光熱水費合計						※横浜市負担
光熱水費 (電気)						※横浜市負担
光熱水費 (ガス)						※横浜市負担
光熱水費 (水道)						※横浜市負担
光熱水費 (下水道)						※横浜市負担
清掃費	311,500		311,500	321,088	-9,588	
修繕費	200,000		200,000	280,634	-80,634	
機械警備費	620,400		620,400	620,400	0	
公園及び公園施設設備保全費	1,158,720		1,158,720	866,402	292,318	剪定、廃棄物
施設 (建物)・設備保守	0		0	0	0	
園地管理費	558,720		558,720	266,402	292,318	公愛草刈
その他保全費	600,000		600,000	600,000	0	
公租公課	840,000		840,000	940,700	-100,700	
公租公課 (事業所税)	70,000		70,000	240,900	-170,900	
公租公課 (消費税)	770,000		770,000	699,800	70,200	
その他公租公課	0		0	0	0	
事務経費 (本部分)	0		0	0	0	
雑費	0		0	0	0	
支出合計 (b)	14,955,900		14,955,900	14,468,914	486,986	
差引 (a - b)	0		0	310,522	-310,522	

(参考) 指定管理事業外の収支

設置管理許可収入合計 (c)	99,000		99,000	84,600	14,400	販売物
設置管理許可支出合計 (d)	78,500		78,500	45,680	32,820	
差引 (c - d)	20,500		20,500	38,920	18,420	

今年度の収支報告

- ・最終的に 310,522 の黒字となりました。
- ・人件費、事業費は若干赤字、管理費は低木剪定を内部スタッフで実施し、経費節減に努めました。
- ・自主事業についてはコロナ禍の為イベントの縮小、中止を余儀なくされましたが、年中行事を中心に展示内容の充実に努め、利用者サービスの向上に役立て来園者からも好評をいただき、結果的に経費が削減されました。
- ・昨年度の利益還元として、正門入口付近の歩きにくい園路の整備費に充当、利用が雨天でも水たまりの無い正門階段が整備され、歩きやすくなったと来園者の皆様に好評です。
- ・昨年利益還元の1つとして、ガーデンシュレッダーを購入、低木の剪定枝はこまめに裁断して、堆肥化して園内の資源循環に活用。有機資源のリサイクルは横浜市のSDGsの施策にも役立てています。

(事業報告書様式 12)

運営目標・実績報告【自己評価 ◎：特筆すべき取組がある ○：達成している △：改善を要する】

項目	計画時の取組み内容及び具体的な数値目標	実績	自己評価 (◎・○・△)	改善点等 今後の取組
業務運営1 (事業計画書様式2：達成目標、運營業務の実施方針、個別課題)	保存と活用を基本に、施設として利用者満足度向上。 ・利用者アンケート (4回/年) ・年中行事の季節展示 (5回/年)	・利用者アンケートを毎年実施 (14回/年) 回答の満足度は高かったが、集計が少ない為十分な傾向はつかめなかった。 ・節句行事展示 (五節句+節分) は、内容も充実を図り開催来園者からも好評。(6回/年)	○	引き続き、満足度の向上に向けた取組を推進していく。
業務運営2 (事業計画書様式2：管理運営体制、人員の配置と研修計画)	園内整備、行事運営の適正な人員配置。 ・事務局員研修 (スタッフ会議研修) (12回/年) 個人情報、人権、危機管理、事務局マニュアルの確認。	・防火防災管理者講習受講 (2日間) ・刈り払い機講習受講 ・スタッフ会議研修 (12回/年)	◎	コロナ禍もあり緊急の休業にも対応できるよう事務局員を補充。新年度欠員補充をR4年4月に補充。 新人スタッフも増えたため、文化体験施設ガイドラインの研修に取り組む。
業務運営3 (事業計画書様式3：利用者サービスの向上・利用促進策)	市民ニーズを生かした自主事業の取組。 ・年中行事 (11件) ・伝承文化講座 (15件)	・自主事業提案 26 件中 19 件実施 (実施率 73%) (事業実施報告のとおりコロナ感染症予防対策により実施できない事業があった)	○	今後もウイズコロナ感染症予防対策を取った自主事業の実施に向けた調整を行う。

<p>業務運営4 (事業計画書様式3:広報・プロモーションの取組)</p>	<p>市民へのタイムリーな情報提供。 ・区広報(12回/年) ・HP定期更新(常時) ・SNS更新(6回/年)</p>	<p>・区広報掲載(12回/年) ・SNS更新(6回/年) ・計画外、東京都市大連携動画記録を実施(4回/年) ・CATV イッツコミュニケーションズの取材が増加(数回/年)</p>	◎	<p>HPリニューアル。 今後 SNS(予告、イベント完了後の様子アーカイブ)の発信を行う。</p>
<p>業務運営5 (事業計画書様式3:市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成)</p>	<p>近隣町内会連携(3件/年)</p>	<p>・町内会連携行事の鏡餅、七草・鏡開き開催(2回/年) ※園内草取りは中止。</p>	○	<p>新規の市民協働行事の支援を増やすとともに、コロナ禍であるが無理のない範囲で次年度の開催に向けた調整を行う。</p>
<p>業務運営6 (事業計画書様式3:市の施策への協力)</p>	<p>まちの賑わいづくりの地域祭り、 ・行政主催地域お祭り(2回/年) ・青少年夏休みボランティア活動支援(2回/年)</p>	<p>すべての行政行事はコロナ禍のため中止 ・お祭り ・夏休みボランティア</p>	△	<p>ウイズコロナの中でもできる範囲で開催に向け調整を行う。 SDGsについては維持保全、行事の面でもより効果的な取り組みに努めていく。</p>
<p>業務運営7 (事業計画書様式4:文化・自然体験施設の魅力を高める施設・園地管理)</p>	<p>文化財である古民家の環境を生かした園地の整備 ・主屋の雨落ち排水溝の排泥、清掃 ・利用者の安全対策の点検と整備</p>	<p>・主屋排水溝清掃(20回/年)南面、ウマヤ裏の整備を実施。 ・利用者安全対策として敷石、正門園路の砂利敷工事实施。(雨天時園路が歩きやすいと好評。) ※維持管理報告の通り</p>	◎	<p>引き続き、文化・自然体験施設の魅力を高める施設・園地管理に努めていく。</p>
<p>業務運営8 (事業計画書様式4:施設(建物等)、設備の維持管理)</p>	<p>経年劣化で建物、設備の点検、小規模補修 ・主屋の建物点検(12回/年)</p>	<p>・建物の経年劣化を把握(12回/年)主屋土壁腐食の点検を行い、市建築保全公社の計画修繕の点検を受けることができた。 ※維持管理報告の通り</p>	○	<p>引き続き、施設(建物等)、設備の維持管理に努めていく。 主屋は文化財のため来年度以降の計画修繕に反映。自主的にできる補修は限定的。</p>
<p>業務運営9 (事業計画書様式4:樹木、植栽等の管理)</p>	<p>雑木林、屋敷林、竹林の間伐、剪定 ・低木剪定(5回/年) ・竹林間伐(10回/年) ・草地広場草刈り(10回/年)</p>	<p>健全な植物の育成、風通しの良い植物環境を確保、害虫防除に貢献。 ・低木剪定(40回/年) ・竹林間伐(10回/年) ・草地広場草刈り(11回/年) ※維持管理報告の通り</p>	◎	<p>引き続き、樹木、植栽等の管理に努めていく。</p>

<p>業務運営 10 (事業計画書 様式 4 : 巡 視・清掃)</p>	<p>毎日の巡視・清掃 (335回/年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日巡視・清掃を行 い、気持ちの良い環境を 維持することができた。 ・ 秋の落葉時期は毎日枯 れ葉を集め堆肥ケージに 入れ、春には堆肥として 活用した ・ 巡視 (4回/日) により 不法投棄の防止や枯れ枝 の落下の未然防止をする ことができた。 <p>※維持管理報告の通り</p>	<p>◎</p>	<p>引き続き、巡視・清掃 に努めていく。</p>
<p>収支 (事業計画書 様式 7 : 収入 確保、経費節 減策)</p>	<p>有料イベントの収入確 保、経費節減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年中行事 ・ 伝承文化講座 	<p>コロナ感染症予防対策に より実施できない事業が あり、有料イベント運営 協力金の収入減となっ た。イベント内容、予算 を組み換え収支バランス を確保した。</p> <p>※収支報告書の通り</p>	<p>○</p>	<p>引き続き、経費の節 減・運営協力金等獲得 に努めていく。</p>